

第268回 コミュニケーション・プラザ

日 時：令和7年11月13日（木）13:30～17:00

場 所：主婦会館プラザエフ 4F「シャトレ」（オンライン併用）

企 画：国土交通省 住宅局 住宅生産課

司 会：国土交通省 住宅局 住宅生産課長 前田 亮

「2050年を見据えた住生活と既存住宅」

住生活基本法に基づく10年計画である「住生活基本計画」の見直しに向けて、社会資本整備審議会住宅宅地分科会において議論が進められています。今回の見直しは、四半世紀先の2050年を見据えつつ、これから10年間の住宅施策の方向性を検討することとされています。

2050年に向けた人生100年時代の中では、長い人生のその時々ライフステージ・ライフスタイルに適した住宅への住み替えやリフォームが、豊かで安心した住生活を送ることに寄与するのではないのでしょうか。他方、良質な新築住宅が蓄積されてきた結果、2050年に向けて既存住宅を本格的に有効活用することが求められています。

これらを併せ考えると、良質な新築住宅が適切に維持管理・リフォームされ、多様な世帯や世代に住み継がれ循環するシステムになっていることが有効と考えられます。

また、これから2050年までの間、戦後から高度経済成長期に整備された比較的利便性の高い既存住宅地において住宅・住宅地の相続が大量に生じるため、これらを若者や子育て世帯にとって魅力的な居住の選択肢とすることも求められます。

このような2050年の住生活の姿を思い描きつつ、今後の住宅政策が何を担うべきかといった議論が行われています。

今回のコミュニケーション・プラザでは、住宅宅地分科会における議論の様子や、住宅ストックの維持管理・リフォーム等に関する最先端の事例などを紹介し、今年度末に決定予定の住生活基本計画に先んじて、2050年を見据えた住宅ストックのあり方について考えていきたいと思います。

1.	理事長挨拶	13:30～13:35
2.	司会挨拶	
3.	「住宅宅地分科会における議論の紹介」 国土交通省 住宅局 住宅戦略官付 住宅活用調整官 恵崎 孝之	13:35～14:20 (45分)
4.	「ストックの維持管理とデジタルプラットフォームの重要性」 株式会社 CoLife 代表取締役社長 池内 順平	14:20～15:05 (45分)
	～休憩～ (15分)	15:05～15:20
5.	「いのちを守る「ひと部屋」確保から始める住環境改善」 一般社団法人日本住宅リフォーム産業協会 理事 矢島 一	15:20～16:05 (45分)
6.	「相続空き家の市場を通じた承継と予防」 空き家活用株式会社 取締役会長 和田 貴充	16:05～16:50 (45分)
7.	質疑応答（終了後 懇親会）	16:50～17:00

プラザエフ



- 一般財団法人 主婦会館 プラザエフ

受付時間 平日 9:30 ～ 18:00 土日祝 9:30 ～ 17:00